



バラの会
楠 晋典 議員

問 施政方針の重点項目の ジオパークと観光行政

Q ジオパークと世界遺産を連携させた半島活性化についての具体策は。

A 九州には阿蘇、霧島、桜島錦江湾、大分豊後大野、姫島等の認定されたジオパークがあり、連携してインバウンドに早く取りかかるべき。島鉄の新経営陣は、半島観光資源にも魅力を感じておられ、対岸の熊本への宣伝も含め、交通体系の整備とインバウンドに力を入れていきたい。

Q 市民の盛り上がり不足について。

A ジオパーク活動の主役は、地域住民による地域活動である。ニューズレターやジオだよりの発行、半島を考えるワークショップ等のセミナーなどを開催しながら、周知をしていくことが必要と考える。

Q 学校での郷土愛を育む授業はどうか？

A 小学校3、4年生で副読本を活用した授業や、小6、中1でのジオ

学習があり、小1から中3までは道徳教育の中で郷土愛について学んでいる。4月にはがまだすドームがリニューアルオープンし、子供ジオパークコーナーが新設されるので、教育施設の一端として利用していただきたい。

問 プールの利用促進と 障がい者への減免

Q 昨年10月の料金改定により1.5倍となったが、サービスの向上も必要ではないか。閉館時間が8時は早いとの声があるが、延長する考えはないのか？

A 時間を延長するイコールコストがかかる。コストがかかる以上は、多くの方に利用していただきたいので、そういった見極めが大事である。慎重に検討していきたい。

Q 障害者の方は、減免すべきでないか。

A 10月の改定の際、障がい者の利用につき介護者1名を減免するという規定を設けた。当面は現行の減免規定でいきたい。

【その他の質問事項】

◇避けられなかったミスの和解や示談のための予算はできないか

◇紙ベース保管からの脱却

◇消防団員の出勤体制の充実



実践クラブ
生田 忠照 議員

問 人口減少が止まらない時の 備えを考えているのか

Q 島原市の人口減少は市が考える200人減をはるかに上回る毎年500人減で推移している。このままで大丈夫なのか。

A 少しでも歯止めをかけたいたいと考えている。

Q 今こそ、暮らしやすいコンパクトシティを目指すべきだと思うがどうか。

A 進めるべきだと思う。

Q 具体策として、市営住宅にお住まいの高齢者に、買物や病院が近い街なかの空き家に移転してもらい、代わりに学校が近いので、子育て世代に入居してもらえば、双方にとって良いと思うがどうか。

A 問題はいくつかあると思うが、提案は理想の形であり、大切なことだと思う。

Q 少子高齢化で町内会の運営も難しい。市職員の活用も含め、地域の世話を配置して負担軽減するなど、取り組む考えはないか。

A 小学校区単位で、自主運営を行政が支え、地域の課題を解決する手法は有意義だと思う。

問 島原城400周年事業の 内容は。間に合うのか

Q 350周年の事業内容と市民の寄付金額は。

A 10年計画で、昭和39年に天守閣を復元した。当時のお金で3千万円。

Q 城の復元が、この50年の島原観光を支えてきたと言える。これからの50年の為に何をやるのか。あと6年しかない現在、歴史的価値の高い松平文庫を活用すべき。

A 市民への周知も含めて国の重要文化財指定という大きな目指すべき方向で、検討していきたい。

【その他の質問項目】

◇学校誘致について

◇新規道路の進捗

◇イオン存続問題の進捗